

市民活動に関する場所の検討について

1 視察振り返りの意見照会時に回答された視察全体の感想等

- 「市民の活動スペース」の施設としては、それぞれ特徴あるものと思います。
公的支援により設置され、維持管理されているのは不可欠のことなのだろうと考えます。（100%ではないと思うが。）
市民の活動が積極的かつ有効に展開できる条件としては、
 - ① 施設の設置場所をどう考えるか（設置環境）
 - ② 施設の雰囲気づくりをどうする？
 - ③ 「まちづくり」のための市民活動スペースの在り方、捉え方をどうする？
 - ④ 一番大事なことは、この施設をどうやって運営していくかであり、強く、熱く、情熱的な思いを持ち合わせた「視野の広い、前向きな発想のリーダー的存在」の人材を発掘し、育成出来るかだと思う。今後の審議会の展開としては、上記に示した視点で、「白岡らしさ」を求めつつ、具体化していくことが必要と考えます。
- 3件を視察して、それぞれ工夫して地域に合った活動を一生懸命行っていることが分かり、とても良い視察になった。
- 各施設、それなりの活動をしています。各市・町を考えたとき、住民の施設利用がどれだけあるのか疑問に感じた。
「くらくら館」規模の施設を市民が通える範囲に造り、地域住民での運営ができれば。それには、施設を運営してくれる人材の確保とNPO法人の立ち上げが課題となると思う。
- 白岡でも、空き店舗を利用して、その場所へ行ったら、いつでも、皆とおしゃべりでき、また、いろいろな情報が得られる（レターケース、掲示板等）場所、そして、活動していく中で、今後の問題、課題等をスタッフと市民で話し合いを重ね、身近なサポートセンターを作っていけたらと思います。
（はじめの一步が大変、リーダー、費用等）
- 市民が無理なく集まれる距離のところに、「くらくら館」のような施設を何箇所も作り、活動していければと思いました。

2 視察後に本市における施設のあり方を議論した際の意見（抜粋）

- 加須市「くらくら館」のような小規模な施設を複数設置するのがよいのではないかな。
- 公民館やコミュニティセンター、地域の集会所などを有効活用するのがよいのではないかな。
- 現状、独自の施設は作る必要はなく、既存の施設を使って、全体の市民活動をどうサポートするかに視点を置いて考えていく必要がある。
- 公民館やコミュニティセンター、建設中の生涯学習施設等と機能の連携を図っていくことが大事なのではないかな。